

環境配慮

— 木材利用の促進

なかだちうり 京都御苑 中立売休憩所の事例

京都御苑の敷地内に建つこの休憩所の特徴は、何と言っても木造（一部鉄筋コンクリート造）であることです。日本建築の伝統的大屋根と深い軒をコンセプトとして、建物内から軒庇まで繋がる大梁は水平に伸びる建物の力強さを表現しています。



中立売休憩所の外観

このように、国土交通省では環境負荷の低い資材である木材を積極的に利用しています。木材利用を促進することで、森林資源の循環を助け、日本の木材自給率の向上にも貢献しています。

▼ 工事中の様子



この建物について

多くの観光客が訪れ、地元市民の憩いの場ともなっている京都御苑。その玄関口とも言える中立売地区に休憩所を整備することで御苑の魅力の向上を目指しました。外観は京都御苑内の他の施設とも調和するように、また、京都御苑の自然環境にも配慮した計画としています。家具に御苑内で伐採したケヤキ材を使用しているのも特徴の一つです。

▼ 中立売休憩所のテラス



湿気対策

湿気に弱い木材ですが、この建物では特徴的な対策を行っています。床下からの湿気や外壁への跳水を防止するために床を鉄筋コンクリート造としています。また、屋根や外壁は防湿層や通気層による、内部結露対策を施した高断熱仕様としています。



▲▼ 中立売休憩所の内観



所在地	京都府京都市 上京区京都御苑3
敷地面積	651,078㎡
建築面積	538㎡
延べ床面積	538㎡
構造	木造（一部鉄筋コンクリート造）
階数	1階建